

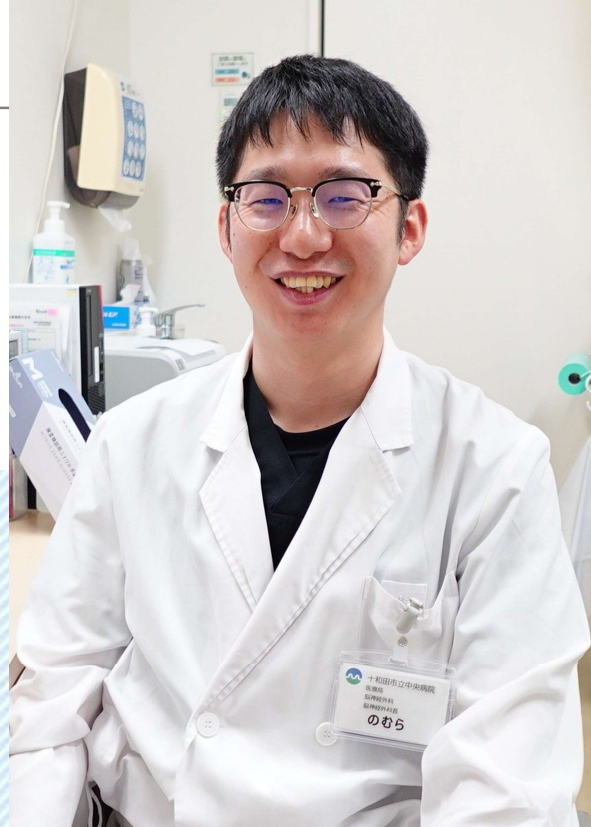
当病院で活動されているドクターに、各専門分野での取り組みや、医療への想いを語っていただきます。

vol.27

脳神経外科 科長

野村 優 のむら ゆう 先生

専門：脳神経外科 得意分野：脳神経外科一般、脳血管障害



——先生のご出身とこれまでのご経歴を教えてください。

千葉県千葉市の出身です。弘前大学医学部医学科を卒業後、当院にて初期研修（2019年4月～2021年3月）をおこない、脳神経外科医としてのキャリアをスタートさせております。現在は脳神経外科科長を務めています。

——脳神経外科医を目指されたきっかけは何でしょうか？

もともと外科系に進みたいという気持ちがありました。脳神経外科を選んだのは、病院実習中に、運ばれてきた患者さんが治療後、症状が劇的に回復し、元気に歩けるようになる場面を目の当たりにしたことからです。「この科だ」と思いました。

——先生の専門とする疾患・得意分野を教えてください。

脳血管障害を専門としています。くも膜下出血、脳出血、脳梗塞といった脳卒中全般などを中心に診ています。手術だけでなく、血管内治療にも取り組んでいます。

——脳の病気で気をつけるべきこと、アドバイスはありますか？

最も重要なのは高血圧の管理です。塩分を摂りすぎないことが大切で、青森県は食事が塩辛い傾向があるので特に意識していただきたいです。私自身も食生活に気をつけております。また、脳ドックの受診もぜひお勧めします。基本的には、未受診の方は一度受けておくと安心です。未破裂動脈瘤など、症状が出る前に異常を発見できれば、早期に対策ができます。

脳卒中の治療で特に大切なことを教えてください。

「時間」です。脳卒中は発症から4分ごとに治療が遅れると、自立した生活を取り戻せる可能性が1%ずつ低下していくと言われています。「おかしいな」と感じたら、迷わず救急車を呼んでください。昨日から症状があったと翌日に来られる方も少なくないのですが、それでは手遅れになってしまいます。素早い対応は命を助け、後遺症の軽減にも寄与します。

脳神経外科医としてやりがいを感じるのはどんな時ですか？

患者さんが回復されて外来に歩いて来てくださる瞬間です。脳の病気は重篤なケースも多く、悩むこともあります。だからこそリハビリを頑張って歩いて帰ってこられた時の喜びはひとしおです。患者さんの頑張りに、こちらが元気をもらっています。

最後に市民の皆さんへメッセージをお願いします。

脳の病気は、発症してしまうと後遺症が残ったり、日常生活に大きな支障が出ることが多いです。まずは予防が一番です。禁煙・減塩・血圧管理・適度な運動を心がけていただき、定期的に脳ドック等の健診を受けることも重要です。そして「おかしいな」と感じたら我慢せず、すぐに受診してください。早く来ていただければ、私たちも最善を尽くすことができます。

また、研修医時代にお世話になった十和田市へ赴任することとなり嬉しく思っています。JRや高速道路のアクセスがないため、用事がなければ来ることがない地域ですが、景観がよく、坂がないため自転車でどこまででも行けますし、飲食店等もそろっており、雪も弘前に比べると少ないです。とにかく住みやすい街だったと記憶しています。

市内で見かけた時は是非声をかけてもらえるとありがたいです。

どうぞ、よろしくお願いいたします。



(2026年6月インタビュー)